



シトリックス、デジタルワークスペースソリューションのリーダーとして認められる

シトリックスは従業員のエンゲージメントを高め最高のパフォーマンスを可能にする シンプルでインテリジェントな業務エクスペリエンス構築に必要な、あらゆるテクノロジーの最先端企業として認定される

本リリースは2020年1月7日米国で発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

フロリダ州フォートローダデール発 - 2020年1月7日 - シトリックスは、仕事から複雑さとフラストレーションを解消し、従業員のエンゲージメントを高め、従業員による最高の成果達成を可能にする、インテリジェントな[デジタルワークスペース](#)の構築に必要なすべてのテクノロジーを提供するリーダー企業として認められことを発表しました。

今日の仕事のやり方がうまく機能しなくなって来ています。それはあまりにも多くのテクノロジーのツールが混在し、むしろ使いづらくなってしまっているためです。仕事を進めるために必要なeメール、テキストメッセージ、ツイート、Slack、あるいはその他すべてのチャンネルが人々の時間を容赦なく奪っています。また現代の会社員が求める仕事の柔軟性を従来のモデルから引き出すことは不可能です。この問題を解決しようとするソリューションは数多く存在しますが、それぞれこの問題の一部しか解決できません。

統一されたエンドポイントマネジメントのリーダー

従業員のやる気を維持すると共に最高の業務達成を実現するには、従業員が必要とし、また好んで使用するアプリケーションを、いつでも、どこでも、どの機器上でも使用できるよう、シンプルかつそれぞれの状況に即した形で利用できるようにすることが企業に求められます。しかしそのためにセキュリティを犠牲にすることは許されません。

[Citrix Endpoint Management](#)を導入することで、企業はデータがどこに存在し、またどこからアクセスされるかにかかわらず、データを保護するためのセキュリティポリシー、手順、およびテクノロジーを動的に適用し、エンドユーザーのエクスペリエンスに悪影響を及ぼすことなく、どの機器でも利用できる環境が実現します。

シトリックスは2019年に、Forrester Research, Inc. を含む大手調査会社による調査レポート『The Forrester Wave#: Unified Endpoint Management, Q4 2019, The 13 Providers that Matter Most and How They Stack Up (最も重要な13社のプロバイダーとその比較) Forrester Research, Inc. 発行、2019年11月』において、Unified Endpoint Managementソリューションの「リーダー」に位置付けられました。

従業員エクスペリエンスへの徹底した集中で知られるシトリックスは、「評価対象となったものの中で最高のワークスペースエクスペリエンスのひとつであり、包括的なアプリケーションのサポート、セルフサービス機能、およびオンプレミスかクラウドかに関わらず全てのコンテンツリポジトリへのアクセスを備えている」と評価されています。シトリックスは製品ロードマップとロードマップ実行において最高点を獲得し、セキュリティ機能と戦略においては5点のうち4点を獲得しています。

また、2019年8月に発表された『[Gartner Magic Quadrant for Unified Endpoint Management \(UEM\) Tools](#)』においても「リーダー」に位置付けられています。

モビリティのリーダー

今日、あらゆる場所で仕事をし、それがオフィスの外であることも多くなってきています。従業員が仕事するのは自宅や近所のカフェです。電話は車や電車の中からもかけられますし、接続にはラップトップ、スマートフォン、タブレット、ウェアラブルなどさまざまな機器が使用されます。

2019年にシトリックスはモビリティソリューションを対象とした、3つのIDC MarketScapeレポートにおいて「リーダー」に位置付けられました。

- 『[IDC MarketScape: Worldwide Unified Endpoint Management Software 2019#2020 Vendor Assessment](#)※1』では、Citrix# Workspace#は（すべてのタイプの機器を使用した）アプリケーションへのアクセスから新しい機器のプロビジョニング、あるいはセキュリティ機能からクラウド内リソースへのアクセスまでにわたる、すべてのWorkspaceサービスを1か所から利用することのできる、優れた設計に基づくツールであると認められました。
- 『[IDC MarketScape: Worldwide Enterprise Mobility Management Software 2019-2020 Vendor Assessment](#)※2』では、シトリックスが「ワークスペースでのIoTのコンセプトと戦略において、最も将来を見据えたEMMプロバイダーの1社」であると認識されました。
- 『[IDC MarketScape: Worldwide Enterprise Mobility Management Software for Ruggedized/IoT Device Deployments 2019#2020 Vendor Assessment](#) ※3』では、「シトリックスのWorkspace Hubは、ロケーション/プレゼンス認識に基づく機器へのログイン、会議室での複数のエンドポイント機器統合、およびウェアラブルとスマート/コネクテッド周辺機器の一体化など、幅広いコネクテッドエンタープライズとワークスペースのためのIoTシナリオを作り出すことができる」と評価されました。

シトリックスのプロダクトマーケティング担当バイスプレジデントであるカルヴィン・スー（Galvin Hsu）は次のように述べています。「シトリックスが注力しているのは、お客様がさらに優れた仕事の進め方を導入することの支援です。これに必要なすべてのテクノロジーにわたってリーダーとして認められたことを喜ばしく思うと共に、人々が最高の成果を挙げるために必要となる、すべての活動を整理、ガイド、および自動化することによって従業員エクスペリエンスを変革し、統一された、安全で、インテリジェントな業務プラットフォームへの注力を続けてまいります。」